

チフテリア	三三六	二九六九	一一	一一〇
流行性感冒	五九七	二八〇三	一八	〇九
結核	一八一	一八五七	五七	五九
癌及悪性腫瘍	四八三	四七五七	一五三	一五三
腸病	六六三	六三五四	二一	二〇
糖尿病	三〇七	三〇四三	九七	九八
脳卒中及癱瘓	五五五	五二八〇	一七九	一六六
心病	四七三	三八五九	一五	一三
氣管支炎	二八〇	二四九四	八八	八〇
肺炎	一七六	二一三〇	〇六	〇七
盲腸炎	五三六	五七三六	一七	一八
腎臓炎	一八七	一八九七	三三	三六
瘧疾その他	二七四	二四四六	八八	七九
老衰	八九六	九二二七	二八	二九
自殺	二九三	二八六	〇一	〇一
他殺	二二七	一〇四三	三七	三四
不慮の傷害	一〇四	一〇四	三	三

一歳未満の特殊死因

早産	七四四	七四三	一三四	一四二
先天性畸形	九三二	八九〇	一六七	一七一
賢及分娩による産児の障害	三二九	二四七	五九	四七
腸カタル	一〇七	一〇七	〇	〇
毒	一〇七	一〇七	〇	〇

- (1) カルルスルーエ、ビルマーゼンス、ツワイブルネッケン及ザール地方の市町村を除く。
- (2) 出産(出生及死産)千に付。
- (3) 出生千に付。

オストマルク及びブズデーテン獨逸地方に於ける死亡増も全く舊獨逸の其れと同様で、たゞ後者に死亡總數の減少を見るのは大量の労働人口が舊獨逸へ移動せる

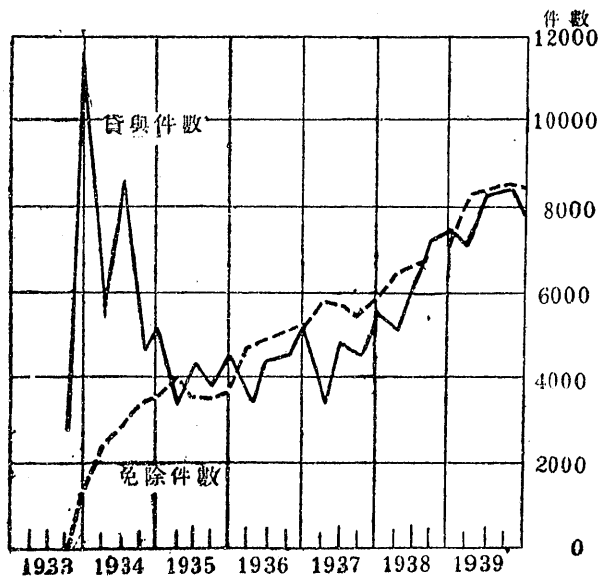
による。なほ兩者共に乳幼児死亡率の低下は顯著である。

一九三三—三九年間獨逸の結婚資金
貸與及其の償還免除件數の集計

結婚資金貸與制度は一九三三年六月失業救済策に兼ねて施行されたナチス政府最初の人口政策の一つであるが、一九三三年—三九年度の資金貸與件數及規定により出生児一人に付其の四分の一の金額を棒引される償還免除件數の集計は Wirtschaft u. Statistik 1940 Nr. 5/6 に發表さるゝ所に依れば次の如くである。

資金貸與件數	一九三三	一四、五五九
舊獨逸内	(八一二月間)	一四、五五九
新獨逸内	一九三四	三、四六九
計	一九三五	一五、〇二八
資金貸與件數	一九三六	一七、四六〇
舊獨逸内	一九三七	一八、五五六
新獨逸内	一九三八	二四、三六一
計	一九三九	二七、〇九一
償還免除件數	一九三三	一、四四五、八七七
舊獨逸内	一九三三	一、三六一〇
新獨逸内	一九三四	一、二九、九六一
計	一九三五	一、五五、〇六一
償還免除件數	一九三六	一、八六、六九四
舊獨逸内	一九三七	二、三三、五三三
新獨逸内	一九三八	二、七三、五六〇
計	一九三九	三、一〇、五九九

一九三九
計
三、一八、八二〇
一、三三、八九〇
三、三二、四六三



獨逸DAFの多子家族生計費調査

一家の収入は子供數に比例して増加するわけではなく多子家族は種々の節約による以外に之が對策を有つてゐないが、多子家族の増加支出と支出節約とは果して如何なる點に行はれてゐるかを調査することを目的として Deutsche Arbeiter Front の労働科學研究所では一九三七年の労働者家計調査の結果を集計してこの方面には先例のない多子家族の生計費調査を完成した。併し新しい試みにつきものの多少の缺陷は致し方なし